

# 令和2年度留萌市社会教育事業報告書

留萌市教育委員会



## 【生涯教育の充実】

No.	事業名	事業内容等	対象	開催期日 (会場)	決算見込
1	社会教育統括事業	社会教育、生涯学習、芸術・文化等に関する施策の執行及び、国や道への調査・報告など社会教育に関する統括的な業務を行った。	-	通年	560千円 《予算537千円》
	教育相談電話の設置	文化・スポーツ、各種サークルなど、生涯学習・社会教育に関する問い合わせの窓口とし、対応を行った。	市民等	通年	0千円 《予算0千円》
2	PTA研究大会事業	子どもを取り巻く教育の諸問題について研鑽を深めるとともに、PTA活動の活性化に資するため、留萌市PTA連合会との共催により開催する。	児童・生徒の保護者等	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大のため	0千円 《予算110千円》
3	審議会等事業	社会教育行政を推進するために、定例会議や研修会等を実施した。	-	-	63千円 《予算225千円》
	社会教育委員の会議	社会教育行政に広く地域等の意見を反映させるために定例会議を3回実施した。また、社会教育委員としての資質向上を図るため勉強会を3回実施した。	社会教育委員 (8名)	通年 (留萌市役所等)	60千円 《予算81千円》
4	成人式事業	次代を担う新成人の希望に満ちた前途を祝福するために、感染症対策を徹底しながら、式典及び記念事業を実施した。	H12.4.2～ H13.4.1生 117名 (新成人のほか来賓等を含む)	1月10日 (文化センター・中央公民館)	208千円 《予算316千円》
5	学校開放事業	地域住民に持続的にスポーツ活動の場や機会を提供することにより、健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興と学校施設の有効活用を図ることを目的に、市内小中学校を開放した。	市民等 (延べ5,082名)	9月～2月 (各小中学校)	0千円 《予算0千円》
6	中央公民館等管理事業	指定管理者と連携し、中央公民館、文化センター、スポーツセンター等の運営・維持管理を行い、施設の利用促進を図った。	市民等	通年	70,730千円 《予算70,730千円》
	(指定管理事業) 留萌市あかしあ大学	心身の健康管理や社会の諸問題について学習するとともに、豊富な経験や技能を生かし、楽しく生きがいのある生活を送ることができるよう高齢者大学を開設。音楽やダンスなどの各種講座、運動会等を実施した。	満60歳以上の市民等 (学生57名)	7月～2月 延べ20日間 (中央公民館他)	-
	(指定管理事業) 留萌地方コーラスサークル交歓会	留萌管内コーラス団体の発表機会を提供し、交流を図るために、各市町村が持ち回りで開催する。	管内コーラス団体等	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大のため	-
	(指定管理事業) 社会教育関係団体調査	社会教育に関する各種調査・統計の基礎資料とするため、市内社会教育関係団体の実態把握調査を実施。調査結果については、転入者への配布及びHPにより情報提供を行った。	社会教育関係団体及び市民等 (114団体)	5月～6月	-
	(指定管理事業) 生涯学習リーダーバンク	知識や経験が豊富な人材(市民講師)を生涯学習リーダーとして登録し、市民の学習機会に活用できるように、転入者及び学校への配布やHPにより周知を行った。	生涯学習リーダー及び市民等 (12名)	5月～6月	-
	(指定管理事業) 市民映画鑑賞事業	映画館のない留萌で映画を見る機会を提供するため、2作品計4回の映画上映会を実施した。	市民等 (延べ189名)	9月23日 11月18日 計2回 (文化センター)	-
	(指定管理事業) 夏休み・冬休み子ども映画鑑賞会	映画館のない留萌で映画を見る機会を提供するため、1作品計2回の映画上映会を実施した。	小学生等 (延べ93名)	1月7日 (文化センター)	-
	(指定管理事業) 第42回健康づくり留萌マラソン大会	マラソンを通じて自らの体力を高めるとともに、参加者間の親睦を深めるために、大会を開催する。	市民等	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大のため	-
	(指定管理事業) 第18回健康づくり大遠足	健康づくりを推進し、参加者間の親睦を深めるために、老若男女が気軽に楽しめるウォーキングを開催した。	市民等 (20名)	10月4日 (留萌市～小平町)	-

## 【生涯教育の充実】

No.	事業名	事業内容等	対象	開催期日 (会場)	決算見込
	(指定管理事業) 第25回日本海CUP 争奪ビーチバレー 留萌大会	健康の維持増進やビーチバレーの普及を図るために、ビーチバレー大会を開催する。	市民等	中止 ※新型コロナウイルス 感染拡大のため	—
	(指定管理事業) るもいチャレンジ ジュニアクラブ	様々なスポーツ種目に挑戦し、能力の向上を図るとともに、体を動かす楽しさを体験してもらう。	小学生	中止 ※新型コロナウイルス 感染拡大のため	—
	(指定管理事業) 少年少女スポーツ テスト会	自分自身の体力を知ることで、一層の体力向上を図るために、小・中学生を対象としたスポーツテストを実施する。	小中学生	中止 ※新型コロナウイルス 感染拡大のため	—
7	図書館運営管理事業	指定管理者と連携し、市立図書館の運営・維持管理を行い、施設の利用促進を図った。	市民等	通年	35,814千円 《予算36,183千円》
	(指定管理事業) おはなし会	「おはなし会の開催」 子どもたちに読書の楽しさを伝えるために読み聞かせや紙芝居を行い、本や図書館に親しむ機会を提供した。	幼児・小学生・ 保護者 (延べ123名)	通年 (図書館)	—
		「出張おはなし会の開催」 各児童センターで読み聞かせや紙芝居を行うとともに「どくしょてちょう」を配布し、学校や家庭での読書推進を図った。	幼児・小学生・ 保護者 (延べ535名)	通年 (各児童センター)	—
	(指定管理事業) ブックスタート	読み聞かせを家族で楽しんでもらえるよう、9ヵ月児健診の対象者全てに、説明を添えながら絵本等の入ったブックスタートパックを配布した。	乳児・保護者 (113名)	通年 (はーとふる)	—
	(指定管理事業) 萌っ子文庫	学級内で児童・生徒の読書推進が図られるよう年代に応じた図書を配本した。	小・中学生 (3,900冊)	通年 (小中学校)	—
	(指定管理事業) 読書感想文コンクール	豊かな人間性や考える力を育むため、読書感想文を募集し、優秀作品を表彰。763点の応募のうち、38点が入賞した。	小・中学生 高校生 (495名)	6月～10月 (図書館)	—
	(指定管理事業) 図書館まつり	ボランティアによる古本市や、地元本屋による物販、おはなし会や展示会等を行う。	市民等	中止 ※新型コロナウイルス 感染拡大のため	—
	(指定管理事業) ブックリサイクル市 (青空古本市)	図書館正面広場(屋外)にて、ボランティアによる寄贈本の販売を行った。	市民等 (約250名)	9月20日 (図書館正面広場)	—
	(指定管理事業) 映画会	文化や歴史への興味関心を深めてもらうため、図書館が所蔵する映像作品の上映を行った。	市民等 (41名)	8月～11月 (図書館)	—
	(指定管理事業) フロア展示	図書館のスペースの有効活用や市民への情報提供の場として、図書館で所蔵している本や資料の展示を行った。	図書館利用者	通年 (図書館)	—
8	図書館パワーアップ 事業	児童図書の購入や、子どもを対象とした読み聞かせなど動画環境を整備し、在宅を余儀なくされている子ども達の読書推進を図った。	幼児・小学生	—	587千円 《予算587千円》

## 【生涯スポーツの推進】

No.	事業名	事業内容等	対象	開催期日 (会場)	決算見込
1	子どもの体カアップ 推進事業委託料 (COT)	小学校5校に講師が出向き、3・4年生の体育の時間にコーディネーショントレーニングを指導。計101回実施し、運動能力の向上を図った。	小学生 (延べ2,193名)	9月～12月 (小学校5校)	577千円 《予算613千円》
2	スポーツ振興助成金	スポーツ振興基金の運用等により、市内で開催されたスポーツ大会や全道・全国大会に出場した団体及び個人に対し助成を行った。	市民・団体 (2団体、5個人)	通年	145千円 《予算1,000千円》
3	スポーツ振興基金積立金	スポーツ振興基金から生じる運用益を積立て、市民のスポーツ振興につなげた。	—	通年	運用益1千円 《予算2千円》
4	温水プール管理事業	温水プール「ふるも」を小学校水泳授業専用として一部再開。また、学校水泳授業中の毎週水士は時間延長し一般にも開放するとともに夏休み期間中は、土日一般に開放した。	市民等 (学校利用 延べ1,420名、 一般開放 延べ2,709名)	7～9月 (温水プールふるも)	25,580千円 《予算 26,974千円》
5	冬季ロッジ等管理事業 (旧クロスカントリー コース整備事業)	市民の健康増進、冬季スポーツ・レクリエーション活動の充実等を図るため、休憩所となる神居岩スキー場ロッジの冬季間の管理を行った。	市民等 (延べ1,900名)	12月～3月 (旧神居岩スキー場)	2,305千円 《予算2,431千円》
6	冬季スポーツ環境整備事業	冬季スポーツ活動やレクリエーション活動の充実を図るために圧雪車を整備し、市民の健康増進やクロスカントリーを始めとしたスキー競技における将来有望な人材の発掘・育成等につなげる。また、圧雪車を活用し、子どもたちが冬の学びや遊びを体験できる場所として、神居岩スキー場クロスカントリーコース等の環境整備を行った。	神居岩スキー場	—	31,973千円 《予算36,257千円》
7	地域文化芸術・スポーツ開催支援金	感染拡大により、中止または延期を余儀なくされた文化芸術・スポーツイベントについて、感染防止対策の徹底への協力を条件に文化センター、スポーツセンターの利用料(備品等を含む)の半額を支援した。	市民等 (3団体)	10月～3月 (文化センター、 スポーツセンター)	225千円 《予算721千円》

## 【芸術・文化活動の推進と歴史の伝承】

No.	事業名	事業内容等	対象	開催期日 (会場)	決算見込
1	子どもたちの伝統文化体験事業	日本古来の伝統文化（お茶、お花、お琴、太鼓、日本料理）を体験することにより、礼節を学び、豊かな心を育むことを目的に実施。各教室を数回開催し、市民芸術祭において成果発表を行った。	小学生 (延べ86名)	9月～10月 (中央公民館、文化センター)	371千円 《予算641千円》
2	芸術文化振興助成金	芸術文化振興基金の運用等により、市内の団体が自主的に開催する芸術文化活動振興事業に対し助成を行った。	市民・団体 (2団体)	通年	121千円 《予算1,000千円》
3	芸術文化振興基金積立金	芸術文化振興基金から生じる運用益を積立て、市民の芸術文化振興につなげた。	—	通年	運用益1千円 《予算2千円》
4	地域文化芸術・スポーツ開催支援金（再掲）	感染拡大により、中止または延期を余儀なくされた文化芸術・スポーツイベントについて、感染防止対策の徹底への協力を条件に文化センター、スポーツセンターの利用料（備品等を含む）の半額を支援した。	市民等 (3団体)	10月～3月 (文化センター、スポーツセンター)	225千円 《予算721千円》
5	子どもたちの芸術鑑賞事業	子どもたちの豊かな心や感性の育成を目的に、児童を対象とした芸術鑑賞事業を実施する。（航空自衛隊中央音楽隊による演奏会を予定）	小学生	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大のため	0千円 《予算719千円》
6	航空自衛隊中央音楽隊招致事業	市民に全国トップレベルの音楽鑑賞の機会を提供することで、市民の豊かな心の形成とともに、芸術文化に対する理解と関心を深めてもらう。（令和3年度に改めて実施）	市民等	中止 ※新型コロナウイルス感染拡大のため	0千円 《予算982千円》
7	旧佐賀家漁場管理事業	国指定史跡及び国指定重要有形民俗文化財の維持管理を行うとともに、佐賀家の古文書の調査研究及び整理を行った。	—	通年 (佐賀家漁場)	865千円 《予算1,108千円》
	佐賀家漁場一般公開	国指定史跡及び国指定重要有形民俗文化財の一般公開を行うことにより、郷土の歴史に対する理解を深めた。	市民等 (239名)	8月1日 ～7日	0千円 《予算0千円》
8	るもい文化遺産再発見事業	留萌の歴史・文化に対する認識を深めるため、海のふるさと館ロビーでの写真展やアーカイブスの映像の上映を留萌観光協会との共催により行ったほか、市民向けの郷土学習講座を1回実施した。	市民等 (15名)	通年 (海のふるさと館)	0千円 《予算0千円》
9	海のふるさと館出前解説事業	留萌観光協会等との連携により、海のふるさと館に来館した団体見学者の希望に応じて展示解説を行った。また、小学校へ出向き、昔の生活道具についての出前授業も行った。	小学生等 (68名)	4月～3月 (海のふるさと館他)	0千円 《予算0千円》
10	市指定文化財の保存、活用	留萌市指定文化財の周知、啓発に努めるとともに、保存・活用策についての検討を行った。	—	通年	0千円 《予算0千円》
11	埋蔵文化財の調査、保全	埋蔵文化財包蔵地の調査や遺跡・遺物の発見・保全に努め、郷土の歴史や文化を正しく理解してもらうことで、市民文化の向上を図った。	—	通年	0千円 《予算0千円》

## 【安全・安心な教育環境の確保】

No.	事業名	事業内容等	場所	工期	決算見込 (円)
1	スポーツセンター等整備事業	社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な施設整備を進める。	スポーツセンター	—	1,177千円 《予算1,565千円》
	スポーツセンター卓球台更新	全国大会に多くの子ども達が出場するなど、市内における卓球熱が高まっているほか、令和4年には全道大会の開催も予定されていることから、現在規格外となっている卓球台の更新を行った。	スポーツセンター	—	1,177千円 《予算1,565千円》
2	冬季スポーツ環境整備事業（再掲）	冬季スポーツ活動やレクリエーション活動の充実を図るために圧雪車を整備し、市民の健康増進やクロスカントリーを始めとしたスキー競技における将来有望な人材の発掘・育成等につなげる。また、圧雪車を活用し、子どもたちが冬の学びや遊びを体験できる場所として、神居岩スキー場クロスカントリーコース等の環境整備を行った。	神居岩スキー場	—	31,793千円 《予算36,257千円》
	神居岩スキー場圧雪車整備	市民の健康増進やクロスカントリーを始めとしたスキー競技における将来有望な人材の発掘・育成、留萌駐屯地の訓練環境整備などに活用するため、圧雪車を購入した。	神居岩スキー場	11月26日納入	30,800千円 《予算34,545千円》
3	社会教育施設感染症予防対策事業	子どもたちや高齢者が多く利用する中央公民館等において、新型コロナウイルスの感染防止を図り、市民が安全・安心に施設を利用できる環境を整える。	—	—	9,246千円 《予算9,246千円》
	消毒器設置、衛生用品等購入	新型コロナウイルスの感染防止を図るため、社会教育施設に、自動手指消毒器、消毒液、施設内消毒用アルコール、ビニール手袋、網戸、図書消毒機（図書館）を整備した。	全社会教育施設	6月～3月	2,602千円 《予算2,602千円》
	トイレ洋式化、手洗い自動水栓化	和式トイレを洋式に改修し、流水時におけるウイルスの拡散防止につなげるとともに、トイレに設置されている手洗いを自動水栓化に整備した。	全社会教育施設	12月～2月	6,644千円 《予算6,644千円》